
白ねずみの話

川村

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

白ねずみの話

【Nコード】

N7246D

【作者名】

川村

【あらすじ】

黒猫と白ねずみの日常的冒険譚。白ねずみサイドのモノローグ。

白ねずみの話

黒猫はバカだから。夢を見ていたんだ。

何の力も智慧も無いくせに、理想ばつか語りやがって。現実つてもんを見ていなかったんだ。

それでも芯がありやまだ可愛げがあるうってもんだが、考えもプリンみたいにくにやくにやで甘いときてる。コネクタと回線が間違つて繋がってるのか、動力と出力の間にブラックホールがあるのか知らないが、非合理的なもんだ。

複雑ながらもスムーズにあるべきだろ？イキモノってのはさ。

機械みたいにさ、自分の箍つてもんをだね、かきかきつと螺子で止めて、かちんと穴にはめこんでだね。

動力があって、低音でモータが回って、細かい部品が流れるようにそれぞれの役割を果たしてさ、傾いて、回転して、跳ね上げて・・。そういう風に、自分の意思は出力されるだろ？複雑な工程を経てもスムーズにさ。そうあるべきだろ。イキモノってのは。

8ひく5は3だし、3かける66は198だ。

どうあがいたって20なんて数字はでてこないし、世の中つてのはそういう風にできている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7246d/>

白ねずみの話

2010年10月9日00時00分発行